

ボランティア・NPO活動センター

春季国内体験学習プログラム 参加者募集



国内体験学習プログラムは、学生が、該当地域の地域住民やNPO／NGOとの交流を通じて、国内におけるその地域の抱える問題に触れるとともに、ボランティア等の体験学習を行うことにより、より深く社会の問題について考え、その問題解決に向けて自身の問題として考えるきっかけを作ることを目的としています。

この2年、地域に出る機会が減少しました。ぜひ一緒に現地へ赴き、見て聞いて感じてみましょう！

募集期間：2021年11月22日（月）～12月13日（月）

近江八幡の左義長祭

～コロナ禍において伝統文化の継承について考える～

日程：2022年2月27日（日）28日（月）

※宿泊なしの日帰り2日間

行き先：滋賀県近江八幡市

参加費：無料（交通費や食費は別途必要）

定員：10名（応募者多数の場合は選考）

内容：左義長祭に関するお話を聴いたり作業を見学します。また、まち歩きなども行う予定です。そういった活動を通じて伝統文化についての魅力や継承に伴う課題について学ぶとともに、新型コロナウイルス感染症による伝統文化や地域への影響についても学びます。

○参加資格：本学に在学する学生（学部生、短期大学部生）

○その他の参加要件、プログラム詳細、申込については、

HPにある募集要項や説明動画を確認してください。

HPはこちらから→

福島スタディツアー

～福島県の「今」を見、福島を生きる人々の「言葉」を聴き、そして「自分」を見つめる～

日程：2022年2月22日（火）～25日（金）

3泊4日

行き先：福島県の中通りから浜通りの地域

参加費：20,000円（一部食費は別途必要）

定員：10名（応募者多数の場合は選考）

内容：福島県の“今”をどれだけの人知っているでしょうか？自分の五感をフルに使って“今”を見、そこに生きる人々の言葉を受け止め、自分自身の問題として、福島について考えてみませんか？フィールドワーク等を行います。



主催

龍谷大学ボランティア・NPO活動センター

（深草）成就館1階 TEL 075-645-2047 （瀬田）青志館横 TEL 077-544-7252

E-mail : ryuvnc@ad.ryukoku.ac.jp

過去の国内体験学習プログラム

近江八幡



↑2020年度プログラムの様子は
こちらから



福島



2019年度プログラムの様子は
こちらから↓



同時募集！！

【福島オンラインプログラム】

今回の福島スタディツアーの事前学習会の一部を、ツアー参加者だけでなく、多くの方に参加していただける形で実施します。龍谷大学の学生、教職員ならどなたでも参加可能です。ぜひ、この機会にご参加ください。

プログラム名：「東日本大震災後の福島を知る」（仮題）

日時：2022年2月7日（月）13：10～16：40

場所：オンライン（Zoom）

申込み：福島スタディツアーの申込フォームから申し込み可能です。

内容：①「福島県が東日本大震災によってどのような被害を受けたのか」（仮題）

筒井のり子(社会学部 教授)

②「(株)小高ワーカーズベースの挑戦」

(株)小高ワーカーズベース 和田代表

福島県南相馬市小高区は、東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所の事故により5年4か月もの間、居住が許されない避難指示区域となりました。避難指示解除後、小高区で、「予測不能の未来を楽しむ」「地域の100の課題から100のビジネスを創出する」をキーワードに、様々な事業を立ち上げている(株)小高ワーカーズベースの和田代表とオンラインでつなぎ、お話を聴きます。

申込みフォーム
はこちら →



主催

龍谷大学ボランティア・NPO活動センター

(深草) 成就館 1 階 TEL 075-645-2047 (瀬田) 青志館横 TEL 077-544-7252

E-mail : ryuvnc@ad.ryukoku.ac.jp